



複線化になって行き違う電車
(八木町玉ノ井)

スピードアップや増便はもちろん、 利便性や快適性も向上

～JR山陰本線（京都―園部間）複線化が完成～

JR山陰本線が、3月13日から複線化に対応した新しいダイヤでの運行になります。複線化に際して本数が増え、乗り継ぎ時間が短縮されるなど、通勤・通学がますます便利になります。

26日付けで各戸配布しています

9本増便、最速36分

ダイヤの本数は、現行の145本から154本（特急を除く）になり、9本の増便となります。また、京都―園部間で最大で15分の短縮になり、最速の快速列車が36分。園部以北についても、園部での接続時間のほとんどが3分に短縮され、同一ホームでの乗り継ぎとなるなど、利便性が向上します。

そのほか、これまでの国鉄から継承した車両が、JR発足後に製造された車両にすべて置き換わり、快適性が向上します。

また、JRのダイヤ改正に合わせて、市営バスやぐるりんバスのダイヤ改正も行いますので、より便利な交通網を皆さんにご利用いただけます。（バスの時刻表は2月

朝の通勤時間帯は

朝の通勤ピーク時間帯に、園部から京都方面への快速を2本増発し、快速を1時間当たり5本、おむね12分間隔で運転。また、この時間帯のすべての快速が嵯峨嵐山駅で普通と接続するため、京都方面の通勤・通学がますます便利になります。

さらには、現在設定のない朝の通勤ピーク時間帯に、京都から園部方面への快速が2本増発されます。

マイタイムは

今回の複線化により普通の運転間隔が等間隔となり、より分かりやすく利用しやすいダイヤ体系になります。

また、園部駅での、上り（京都方面行）の快速や下り（福知山方面行）の普通との接続時間が短縮され、園部以北との相互間の利用が便利になります。園部駅での接続時間は、これまでの上り最大24



▲同一ホームでの乗り継ぎで便利に（園部駅）

分、下り最大13分がいずれも3分になります。

夕方の通勤時間帯は

夕方の通勤客の利用が多い時間帯に、京都から園部方面への快速が2本増発されます。

また、現在設定のない夕方の通勤時間帯に、園部から京都方面への快速が3本増発されます。